

コース池浄化の決定版

進化する水質浄化剤

【ハイパワーアオコカット】のご案内

池がこのような状態でお困りの時にお使い下さい。

1. アオコが繁殖し景観が悪い
2. 腐敗臭でお客様からの苦情がある。
3. ヘドロの堆積が多い。
4. アオミドロが繁殖している。
5. 下流へ流す水質が悪く、住民から苦情がある。

【効果確実】

水質の悪化に困っておられる、多くのゴルフ場で確実な効果を発揮し、お喜び頂いています。

【低コスト】

1回のご使用で1年間効果が持続し、格段にお安く浄化できます。
維持管理費・動力費等も一切不要です。

【施工簡単】

ボードタイプは池に浮かして、液タイプは池の淵に撒いて使用しますので、どなたにも、簡単に施工できます。

【安心・安全】

自然界の浄化細菌群を利用し、食物連鎖を活発化させて水質改善しますので、環境にやさしく安心・安全な浄化剤です。

形状 ボードタイプは浮上性発泡ガラス材に添着してあります。

使用量	20cm角	700㎡(アオコ発生時は500㎡)あたり1枚
	15cm角	400㎡(アオコ発生時は300㎡)あたり1枚
	液	200㎡(アオコ発生時は140㎡)あたり100cc

ハイパワーアオコカットの安全性について

鳥取県岩美郡岩美町大字大谷1706
鳥取県錦鯉養殖漁業生産組合
組合長理事 大西左登志



ハイパワーアオコカットは自然界から採取した数千検体から選抜した 7 群・数十種のバクテリアで構成されている為、その全てを同定してはおりません。

バチルス属及びそれをサポートするバクテリアやバチルス属を利用するバクテリア等で構成されています。

人為的に作ったバクテリアは一切入っていません。

ハイパワーアオコカット開発のコンセプトは、「生態系を活性化させることによって、水質浄化を達成させる」です。

水棲動物が活発に繁殖し食物連鎖が活発になり、水中やヘドロの栄養分が魚貝類に置き換わることによって、水質浄化を達成する水質浄化剤ですから、水棲動物に悪影響を与えては水質浄化する事は出来ません。

私共の实地試験でも、ハイパワーアオコカットを使用することによって、生産量が増加（資料参照）しましたし、動物性プランクトン・蝦・貝なども使用前に比べて多くなりました。

また、ご使用頂いた養殖業者の皆様からも生産量が増加したと喜んで頂きましたし、農業用ため池で使用したお客様からは鮒・蝦・貝がすごく増えたのご報告頂きました。

また、植木や芝などに散水しても悪影響を与える事はありませんでした。

(好影響に関する試験は行っていません)

御中

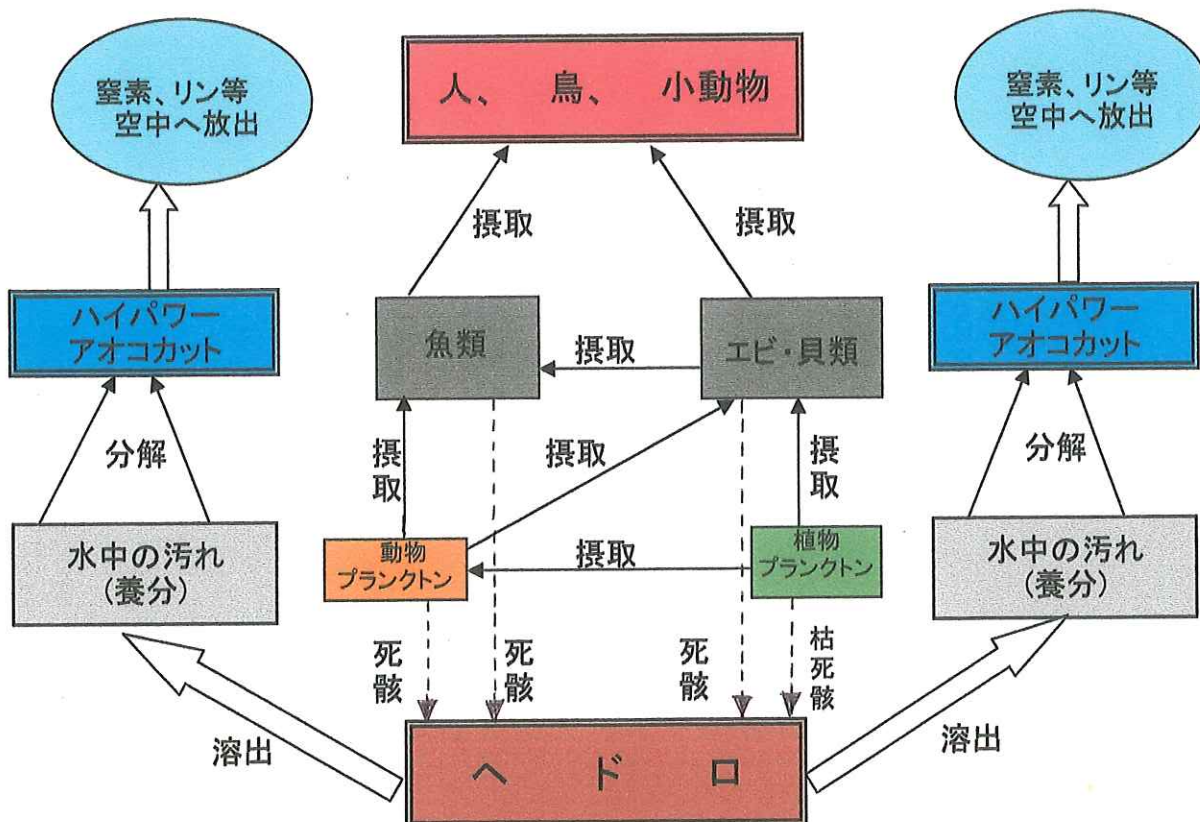
(株)ヤマニグリーンビジネス
〒370-3342 群馬県高崎市下室田町860番地
TEL 027(340)5670 FAX 027(340)5671
E-mail: yamani.g.b@sea.plala.or.jp

水質浄化剤 ハイパワーアオコカットの浄化システム

ハイパワーアオコカットは、どのような環境水でも浄化効果を発揮するよう、自然界から抽出した数十種のバクテリアを組み合わせしており、その浄化作用は、水中における生態学的相互作用(食物連鎖)を活発化させ、自然の持つ浄化能力を活性化させて、継続的且つ低コストで水質を浄化する製品です。

その浄化システムは下図の通りです。

〈 水中の食物連鎖 〉



ハイパワー・アオコカットの実験データ

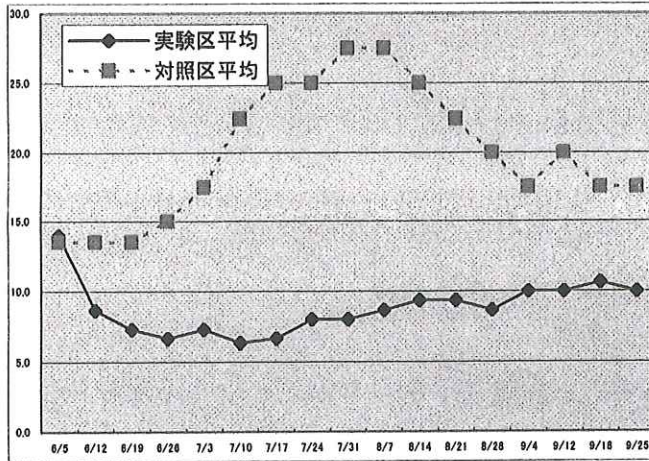
鳥取県錦鯉養殖漁業生産組合 環境事業部

実験場所 錦鯉養殖池 実験期間 平成 15 年 5 月～9 月

1. 浄化効果の検証

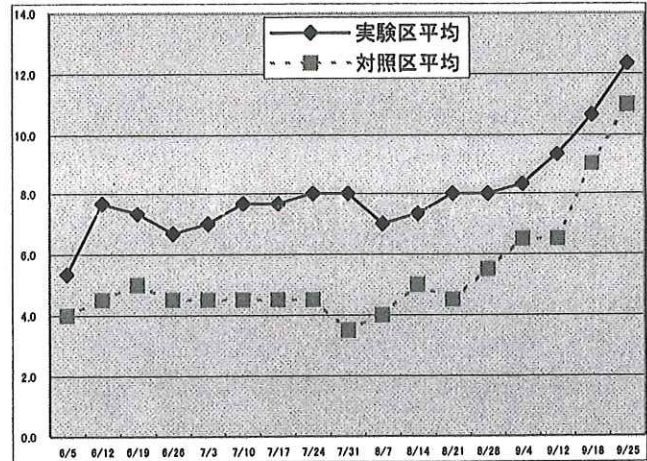
実験区と対照区のCOD比較

【COD】水中の有機物を酸化剤で分解する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、有機物による汚濁状況を測る指標となる。



実験区と対照区のDO比較

【DO】水中に溶けている酸素量で、きれいな水ほど飽和に近い量が含まれる。一般に魚介類が生活するためには3mg/リットル以上必要とされる。



2. アオコに対する効果

ハイパワー・アオコカットを使用しなかった池(対照区)では、7月に入りアオコが発生したが、使用池(実験区)では、全くアオコの発生が無くアオコ抑制効果が確認された。

3. ヘドロに対する効果及び食物連鎖活性化効果

ハイパワー・アオコカットを使用しなかった池には平均 23L/m³のヘドロが堆積したが、使用した池にヘドロの堆積は見られなかった。

ハイパワー・アオコカットを使用した池では、動物性プランクトンの繁殖が継続して確認され、取上げ総重量も使用しなかった池の 2.4 倍であった。

これらのことから、使用した池では汚染物質が、活発な動物性プランクトンの繁殖を経由して、鯉の増重量に移行(食物連鎖の活性化)している事が推測された。

浄化剤実験結果(取上げ量とヘドロ堆積量)

実験場所 鳥取県錦鯉養殖漁業生産組合 養魚池 実験期間 平成 16 年 5 月～9 月

池番号	浄化剤投入日	取上げ日	取上げ量	取上げ m ³ 当り	ヘドロ量(m ³ 当り)
八角 1 号	6/5	9/15	405 Kg	1.688 Kg	無し
八角 2 号	5/29	9/15	416 Kg	1.733 Kg	無し
八角 3 号	6/20	10/1	320 Kg	1.333 Kg	無し
八角 4 号	使用せず	10/1	151 Kg	0.629 Kg	26L
八角 5 号	6/20	10/2	295 Kg	1.229 Kg	無し
八角 6 号	6/26	10/2	272 Kg	1.133 Kg	無し
八角 7 号	使用せず	10/2	124 Kg	0.517 Kg	20L
八角 8 号	5/29	10/25	280 Kg	1.167 Kg	無し
浄化剤使用池 平均値			331.3 Kg	1.381 Kg	無し
浄化剤未使用池 平均値			137.5 Kg	0.573 Kg	23L

4. 浄化効果の持続

以上の結果から、5～6月に投入したハイパワー・アオコカットの浄化効果が少なくとも10月初旬まで持続し、安定的な水質を維持する効果がある事が確認された。

ハイパワーアオコカットの水質浄化効果

ヘドロ及びアオコに対する効果試験

【実験期間】ヘドロ減少試験 平成17年6月～10月
アオコ抑制試験 平成15年8月
【実験場所】鳥取県岩美郡岩美町 錦鯉養魚池
【使用量】20cm角ボードタイプ1枚(1回)

ヘドロ減少試験・未使用池



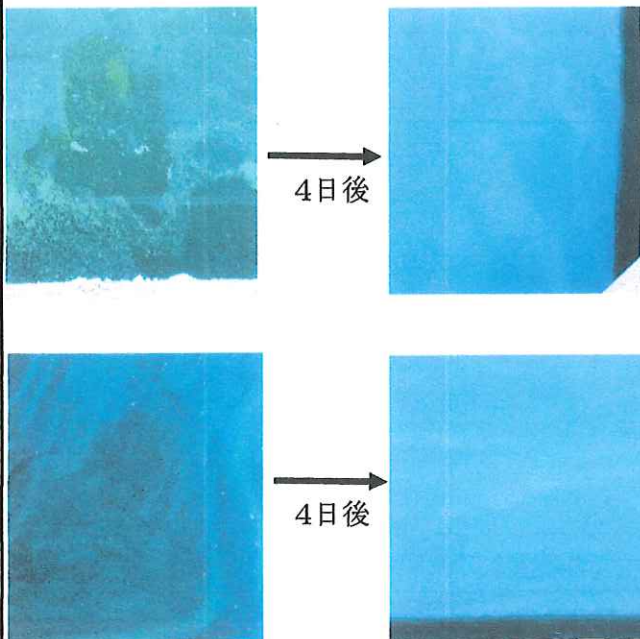
池全体にヘドロが堆積(約3cm)

ヘドロ減少試験・使用池



ヘドロの堆積は見られない・コンクリートが露出

アオコ抑制試験



ヘドロに対する効果試験

【実験期間】平成17年5月10日～6月4日
【実験場所】鳥取大学 工学部 応用微生物学科
嶋尾研究室

ハイパワーアオコカット浄化菌群による 26日後のヘドロ減少効果



調整池浄化試験

【実験期間】平成16年4月9日～5月7日
【実験場所】広島県安芸高田市八千代町
【実施者】北陽技研(株)

全景



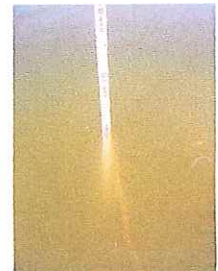
COD 7.1 全燐0.18
SS(浮遊物)4.3

↓ 1ヶ月後



COD 4.4 全燐0.11
SS(浮遊物)2.2

透視度



透視度15cm

↓



透視度30cm

ハイパワーアオコカットによる 緑藻(アオミドロ)除去・抑制効果試験報告

平成20年9月

鳥取県錦鯉養殖漁業生産組合

ハイパワーアオコカットは年々進化し、浄化効果は年々増大しています。
従来の水質浄化効果・アオコ抑制効果・ヘドロ除去効果に
藻の除去効果が加わりました。

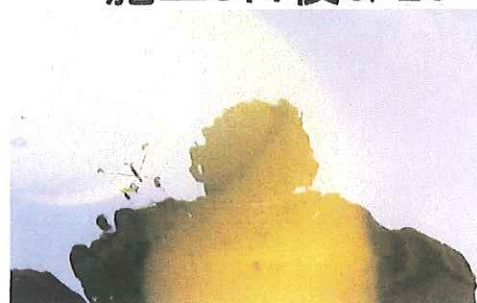
藻に対する即効的抑制効果は、当組合の養魚池2池で実験し。
1週間から2週間でほぼ藻が無くなる事を確認しております。

施工前6/23



水中に藻が漂いパイプが見えない

施工3日後6/26



藻が完全に無くなりパイプがはっきり見える

【コース池での使用例】

下の写真はコース池で使用した例です。

使用時には池一面にアオミドロが繁茂し全く水面の見えないかなりひどい状態でしたので、正直なところ、自信と不安が半々で、効果が現れてくれれば良いかと祈るような気持ちでした。先日、御報告の写真が届き私共の実験より日数は掛かるようですが、**明らかな、効果を確認出来ました。**

施工日 平成20年6月19日

残念ながら使用前の写真はありませんが、

7日後にはアオミドロの表面が少し茶色っぽくなり、効果が現れ始めています。

18日後には水面にあるアオミドロは完全に茶色に変色し、枯れ始めています。

36日後には水面を覆っていたアオミドロがほぼ消滅し、効果が更に顕著になっています。



6月26日



7月7日



7月25日